

港町ミュージアム3 学習指導案

- 1 場所：教室
- 2 題材名：絵と話そう
- 3 題材について



南薫造「うしろむき」は自分たちと同じ年代の女の子が手を後ろに組み、うつむきがちに後ろ向きのポーズをとっている作品である。下絵の描線が分かるような描き方の水彩画である。児童は水彩画は制作したことがあり、なじみのある描画方法である。寒色で統一された画面は女の子の心象を読み取る手立てにもなる。モチーフとなっている女の子やそのポーズは、児童にとって自分たちの生活を参照しながら、感情移入しやすい作品であると言える。

指導に当たっては、作品に描かれた女の子の気持ちや背景を考えさせ、作品を自分なりの見方で鑑賞することの楽しさを味わわせたい。また、作品の持つメッセージを手っ取り早く要点をまとめて率直に伝える作品名を考えることを通して鑑賞して感じたことを言葉で表現させ鑑賞を深めさせたい。

- 4 学習目標
 - ・ 身近にある作品に関心をもつ。
 - ・ 作品に親しみをもち、自分なりの作品名をつけたり感想をもったりする。

6 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項() (「努力を要する」と判断した児童への指導の手だて)	評価規準 (評価方法)	準備物等
1 南薫造「うしろむき」の作品名を考える。	オリジナルの作品名は伏せておき児童に作者になったつもりで考えさせる。		作品の複製 学習カード
2 鑑賞して気づいたことを友だちと話し合う。 絵と話そう。 ・ 学習カードに記入する。 ・ 女の子と同じポーズをとって、その気持ちを考える。	一人一人に作品の複製を貼り付けた学習カードを配り、作品をじっくり鑑賞できるようにする。 ◆ 発想が浮かびにくい児童には、何が描いてあるかを問い、考えるヒントにさせる。	作品の色や形に関心をもってみる。[造形への関心・意欲・態度] (行動観察)(学習カード) 自分なりの見方で作品を鑑賞し感じたことや思ったことを言葉で書く。[鑑賞の能力](学習カード)(発表)	
3 鑑賞したことを友だちと話し合う。	作品名、色、形など鑑賞の視点ごとに意見を出しあい、友だちと自分の見方や感じ方を比べる。 オリジナルタイトル「うしろむき」は児童の主体的な鑑賞態度を育てるために知らせない。	友だちと話し合いながら、いろいろな感じ方や見方があることを知る。[鑑賞の能力](発表)(行動観察)	
4 本時のまとめをする。次時の学習内容を知る。	本時の学習を振り返らせる。 次時は好きな作品を選んで作品カードをつくること、さらに作ったカードをもとにアートゲーム(クイズ)をして友だちの見方や感じ方を知ること知らせて期待感を持たせる。	作品を見ることや友だちとの話し合いを楽しむ。[鑑賞の能力](自己評価カード)(行動観察)	

